

全校集会 学校長の話（2025年7月1日）

- おはようございます。梅雨が明けた今朝は、8時の時点で気温が30度近くまで上がっています。熱中症対策のため、今月はグランドに集まらず、放送での全校集会とします。
- 最近は春がすぐ終わって、長い夏が居座るように感じます。皆さんは、「猛暑日」という言葉を聞いたことがあると思いますが、その定義を知っていますか。一日の最高気温が、35度を超えた日を、猛暑日と呼びます。
- 去年の夏、大阪では最高気温が35度を超える猛暑日が41日ありました。一昨年に比べて10日以上も増え、暑さが年々厳しくなっていることがわかります。100年前の記録を見てみると、当時は35度を超える日は一日もありません。そして今世紀の終わり（西暦2100年）には、猛暑日が年間で70日を超えるという予測もあります。
＜参照＞https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=62&block_no=47772
- こうした気温の上昇は、私たちが排出する二酸化炭素などが地球を暖めている主な原因だといわれています。ここで思い出してほしいのがSDGs、持続可能な開発目標です。気候変動への対策や、クリーンエネルギーの普及、つくる責任とつかう責任など、いま私たち自身が取り組むべき課題が掲げられています。
- また、世界ではAIを使って気候変動に挑む「グリーンAI」と呼ばれる研究が進んでいます。AIが膨大な気象データを解析し、より効率的な再生可能エネルギーの配置や、農業の計画を立てるなど、地球を守るための新しいアイデアを生み出してくれるかもしれません。
- しかし、そのAIも実は資源を消費します。サーバーを冷やすために大量の水が必要で、例えばチャットGPTを10回ほど利用するだけで、500ミリのペットボトル1本分に相当する水が使われるそうです。世界中でAIへの需要が高まれば、近い将来、国一つの年間水使用量を上回る量の水が消費されるという見通しも出ています。技術の恩恵を受けつつ、水やエネルギーを無駄なく使う工夫が欠かせません。
- 気候変動は決して遠い国の出来事ではありません。今こうして、グランドの土が熱くなり、皆さんを集められず放送で集会を行っていること自体が、その影響を物語っています。きょうの話が、自分にできる一步を考えるきっかけになればうれしいです。それでは、しっかり水分を取り、この暑い夏をみんなで乗り切ってほしいと思います。